

禅昌寺の大杉

巨大な杉の木が禅昌寺の本堂や東屋の上にそびえ立ち、この静かな仏教礼拝の場に荘厳な雰囲気を与えています。この木は樹齢 1,300 年以上であると考えられています。高さは 45 メートル、幹周は約 12 メートルあります。

禅昌寺の杉は同年代の他の木とは異なり、驚くほど丈夫で健康に見えます。幹上部の枝が青々とした葉を外側に広げています。この大杉は国の天然記念物です。そのかなりの樹齢は平安時代（794 年-1185 年）に建てられたと考えられている寺院の長い歴史を思い起こさせます。